

『炎学生生活を振り返って』

Y高等学校 Y・M

3年間の高校生活が、あと少しで終わろうとしている。部活動のバスケットボールに打ち込みだ3年間だった。私はバスケで全国大会に出場することを夢見て、八千代松陰高校に入学した。強い先輩方と一緒に練習させてもらい、遠征や強化合宿、様々な大会にも参加させてもらう事ができた。チームは2年連続でインターハイに出場。自分達の代では全国に行くことはできなかつたが、千葉で3位になろなど本当に貴重なすばらしい体験を沢山させて頂いた。ただ、部活動には、自分が想像していた以上に費用がかかった。兄が私立系の大学に通っているところに、私も私立の高校へ進学し、授業料だけでも親にとっては大変な経済的負担だったと思う。そこには加えて、遠征費は1回につき数千円から数万円。それ以外にも様々な出費がある。万が一すれば医療費もかかる。公立高校のバスケ部

に入り、たゞ友人達の中には、大学受験に向けて、早くから塾に通い始めた人もいるが、そのようなな事はとても望めなかつた。

そんな中、小賃基金の奨学金のお話を頂き本当に有難かつた。お陰で2019年10月末の大会まで、経済的な不安を感じる事なく、主力で部活動に取り組む事ができたりし、引退後はし、カリ切り換えて大学受験のための勉強に向かう事ができている。1年生の頃から、もつと勉強にも力を入れるべきだ、たという反省はあるものの、部活動からは数え切れない程多くの事を学べたし、それらはこの先の道を歩いていく上で、私自身の大切な基礎となるに違ひないと思つてゐる。

大学では、国際協力や、地球環境保全、文化人類学、情報、経済などについて学び、将来は、自然と人間が調和した平和な社会を構築するための仕事に就きたいと考えてゐる。本当にお世話になりました。有難うございました。

奨学生生活を振り返り、て

K専門学校

S・A

この度は、小貫基金の特別給付奨学生として採用して頂き、誠に有り難うござい手しました。

私は週6日働きながら、子育てをし、夜間の学校へ週5日通っていました。現在は週2日臨床実習が始まり、その2日間働くことが出来なくなりました。本来ならその2日間分を学校が終わってからの夜の時間に仕事を増やして補わなければいけなくな、住所ですが、貴財団の奨学生に選ばれ、仕事を今まで以上に増やすことなく、学校と臨床実習に取り組むことが出来ました。

小貫基金の援助がなければ、日々の課題や学業、臨床実習での不安感、仕事を増やすこと、精神的にも肉体的にも限界に付いていいだろうと思ひます。経済的不安を抱えることがなく安心して学業に専念することができるだけ、貴財団から支援して頂いた奖学金のおかげです。金銭面だけでなく、精神的に

も肉体的にも大きな支えとなりました。

支えて頂きました、貴重な皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。本当に有り難うござい  
ました。

奨学金生活を振り返って

留学は決してたやすいことではない。留学

生活にはなおさらだ。自分の育ち、違う文化

違う習慣、違う言語を身に着けながら生活に

慣れていく。精神面だけでもかなりの負担が

かけているが、経済面にも諸事情あるではな

いだろうか。もちろん親の仕送り便利もある

が、全部にはうまくいかないと思う。そこで

アルバイトが必要となる。学生にとつては毎

間学校を通って、夜と週末にアルバイトをし

て、勉強する時間が全くなくなり、成績が上

がらなく、留学する目的が完全に失った状態

だと思う。幸い、私は奨学金を助けられた。

小貫基金奨学金に感謝しかない、2018年4

月から2020年3月まで2年間で、奨学金のお

かげで経済状況が和らぎ、勉学を中心でやつ

てこれだ。休みの日が遠くまでには行けなか

つたが関東近郊で日本文化の見学とかもでき

るようになつた。秩父夜祭や神田明神や日光

の社寺などなど、日本の文化を体験しながら

身に付く。さらには、積極的にボランティア活動を参加できるようになつた。去年3月の東京オリンピック大会ボランティアの面接を合格し、研修を参加できるようになります。今年の本番をすごく楽しみにしている。

学生が勉強は仕事、その仕事を良い成果が残すと、絶対誰かに認められる。私は勉強を頑張つて続けることを良かつたと思う、自分の努力を認めた小貫基金に最大の敬意と感謝を表し、小貫基金のお陰で素晴らしい留学生活動を送れるようになった。是非これからも優秀な留学生を支えになつてください。

## 奨学生生活を振り返って

C大学

商経学部経営学科

T・R

この度は、小貫基金のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

いただいた奨学金のおかげで、アルバイトの時間を減らして、勉強や学校のイベントに集中することができました。

小貫基金の奨学生にご採用いただいたからそろそろ2年になり、この2年間で国際センターのイベント、プログラムなどたくさん参加しました。その中で特に今年の7月にイベントの「サマープログラム」で運営メンバーとして、サマープログラムの運営に関わることができました。この経験は私にとってとても有意義でした。サマープログラムでは千葉商科大学と協定を結んでいる10を超える国・地域の大学の学生が参加するため、英語の勉強にもなり、外国人の友達も作ることもできました。それ以外には、日本人学生とのコミュニケーションを通して日本人のしっかりした一面も知り、そのような日本人を見習いたいと思いました。

そして、今、三年生になった私は、就職活動中にたくさんのインターンシップに参加することもできました。私の夢は健康食品の会社を作ることです。将来、大学を卒業して、日本の健康食品の企業に就職して、学校で学んだ知識を日本の企業で活用し、経験を積み重ねて自分の会社を作りたいと思います。また、日本と中国の親善のための交流に貢献したいと思います。

小貫基金の援助で私はとても充実した大学生生活を送ることができて本当にありがとうございました。ご支援を頂いたことに恥じぬよう、最後まで一生懸命に学生生活を送り、就職後も立派な社会人として自立できるよう努力致します。最後になりましたが、ご支援をくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。

## 奨学生生活を振り返って

2年間に渡って小貫基金の奨学生としてご支援いただき、誠にありがとうございました。私は一生懸命に学業を完成させて、十分な時間を持って自分の夢を追うことができ、自分がすごく恵まれていると実感しています。留学から今まで多くの方々に助けてください、感謝の気持ちがいっぱいです。

この2年間で、私はバイトの時間を減らして、授業に専念することができました。2年間で80単位を目標に履修していました。結果は78単位を取得することができ、そのうえ、優と秀と評価された科目が8割を占めています。

大学卒業に向けて、私は開発経済学について研究しています。卒業論文を作成する為、今現在、毎日たくさんの資料を調べ、経営の研究に参考できるものを整理しています。いただいた奨学金を研究資料や参考資料の購入代として使わせていただき、すごく助かっております。

それから、貴基金から奨学金をいただいた後、どんな形で恩返しできるか考えようになり、日本社会へ貢献できるような活動に参加したいと強く思っていたところ、私が2020年東京オリンピックのボランティアを申し込んでみました。幸いな結果、私が採用されました。今から開催までの間、さまざまな研修を受けることになります。微力ながら、この絶好の機会を通して、日本と世界の架け橋になれるよう頑張っていきたいと思います。

私は将来日本で就職したいと考えています。これからも自分の夢を叶え、更なる貴基金から暖かいご支援を忘れず、恩返しできるよう頑張っていきたいと思います。最後、改めて心から感謝申し上げます。

「小貫基金、長い間大変お世話になり、ありがとうございました」

C大学商学部

M・Z

# 奨学生生活を振り返って

M大学 不動産学部

O・S

奨学生生活を振り返って、最初に小貫基金奨学金を応募する際に、「人材と人財に思うこと」という論文を書くことが衝撃的でした。優秀な『人材』になるのではなく、会社の経営にとって、財産（宝）のような『人財』にならなければいけないと考えさせられました。価値のある人財になるために、私は真剣に大学の授業を勉強しました。特に、不動産の知識が不十分だったので、不動産業の現状を把握して、学習計画を立てて勉強することが必要だと考えました。不動産業は土地契約の紛争や、買主或は売主の権力保護などを法律で解決しなければならないことが多く、行政書士を目指すことを目標にして、現在は法律の勉強をしています。小貫基金奨学金のおかげで、バイトする時間を減らすことができ、毎日 6 時間勉強時間にあてることが出来ています。また、健康のために週 3 日は大学の体育館でトレーニングをしています。一生懸命法律を勉強して、たくさん民法と行政法の知識を身につけ、自分が成長したことをよく感じることが出来た 2 年間でした。次は、日本の少子化問題から考えられる不動産業の未来について勉強したいと考えています。人材不足の観点から不動産テック（VR 技術や電子契約等）の導入が今後必要になると思うので、IT 技術の勉強もしていきたいです。将来、優秀な人財になるために、頑張り続けたいと思います。2 年間奨学金を給付頂き、充実した大学生活をおくることが出来ました。本当にありがとうございました。

## 奨学生生活を振り返って

M大学 経済学研究科  
S・K

この度は、小貫基金奨学生に採用いただきまして誠にありがとうございました。私が日本に来た当初は、日本語をうまく話すことができませんでした。その分、学業に多くの時間を取りたいと思いましたが、学費も生活費も自分で負担しなければならず、アルバイトを長時間しなければなりませんでした。就職活動が始まり、アルバイトが思うように出来ず学費の支払いに困っていた時に大学へ相談したところ「小貫基金奨学金」の存在を教えて頂き、奨学金を受けることが決りました。そのおかげで金銭面の負担や心配がなくなり、学内の様々な活動に参加することができました。その中でも、留学生交流会は、様々な国的学生と知り合うことができ、自らの視野を広げ、たくさんの知識を得ることが出来た貴重な時間です。

また、就職活動にも専念することができ、自分が希望していた人材派遣会社から無事内定をいただくことができました。入社後は、企業と個人の双方が満足のいくサービスを1組で多く提供出来るよう頑張ります。

残りの学生生活は、社会に出るため準備期間として、会計と英語の勉強に全力を注ぎたいと思います。立派な社会人として、自立できるよう今後も一層努力するよう心がけます。日本のみならず、世界で活躍する人材になり、たくさんの方々に恩返しをしていきたいです。今までご支援いただきありがとうございました。

## 奨学生生活を振り返って

M大学 経済学研究科  
N・M

2019年4月から小貫基金奨学生に採用いただき、奨学金を受けることで、様々な経験をさせて頂きました。心から感謝申し上げます。日本で生活しながら研究をするには、お金が必要になり、バイトをしなければ生活が成り立ちません。バイトを優先すると、研究時間が少なくなり研究の成果が出なくなります。研究成果が良くなければ、奨学金等の支援を受けることが出来なくなり、バイトを控えなければいけず、悪循環の連続でした。そんな中、小貫基金からの支援を受けることが決まり経済的不安がなくなり、バイトを減らし研究の時間を増やすことが出来ました。

私の将来の目標は、母国モンゴルの貧困を撲滅することです。そのために、アジアの経済発展に関する最先端の研究を行っている日本への留学を選びました。100年前、日本には現在のモンゴルと同じような貧困問題がありましたが、敗戦を経て、日本は貧困の問題を克服し、発展途上国のお手本となるような経済発展を成し遂げました。私は大学院の博士課程を修了して、アジア経済研究所のような日本の研究機関で、開発経済学を中心とした分野の研究を行いながら、モンゴルの研究者や政策担当者と協力して、モンゴルや周辺の国々の貧困撲滅と経済格差の解消のために役に立ちたいと考えています。最終的には、日本や世界各国の人々と協力して、モンゴルの貧困削減のための基金を設立することが私の夢です。

自分自身を見つめ直し、日本とモンゴルの研究者間の架け橋になれるような、視野の広い研究者になりたいです。最後になりますが、小貫基金のおかげで成長の過程である大事な時期を、精神的にも経済的にも支えて頂いたことを感謝しています。社会に役立てるように頑張りたいと思います。

學生生活在辰返

私は、勉強をとくも元張る二ヒガできました。  
た。2年生、3年生と進級す3につけ、学校  
の教科数も増え、逃げかねに向き合う二ヒガ  
多リ取りました。苦手な科目も  
できました。  
私は、将来の夢として誰かの助けになれ  
ような仕事をつくりたいと思つていました。  
学進学も考えました。千葉県民の方、地元  
の方のために働く公務員を目指すことを高  
校2年生の時に決心しました。受験科目は、  
高校で習う教科全てに加え、習わない教科も  
ありました。母は家計が苦しい中、私が夏休  
休講習会に行ったり、家の交通費を払い支援して  
くれました。模試では思ひ通りの点数がこれ  
でいいこと多く続きました。しかし、諦めず  
努力をして結果、地元の市役所は2次合格、  
警察事務は最終合格をし、内定を頂きました。

モ し、 市役所で 働く 二と カリ 叶え ば、 あつ  
氣い た、 苦しが 親や 子供の 手に たれ べ  
子育て支援課に入り、仕事をす 二と カリ 叶え ば、 あつ  
チ 3子育て支援課に入り、仕事をす 二と カリ 叶え ば、 あつ  
3 かわも せんせい。二の 5 うへ、 和加自 分で 支  
え て くれた方 加川幸一 から たゞ て、 次の底  
か の 支え は なり たゞ て、 次の底  
け 犬川幸一 と思 て ます。二の感謝を忘れず、今ままで支  
手 加川幸一 と思 て ます。二の感謝を忘れず、今ままで支

貢学生活を振り返る。

凸

千葉県立I高等学校
O.
Å

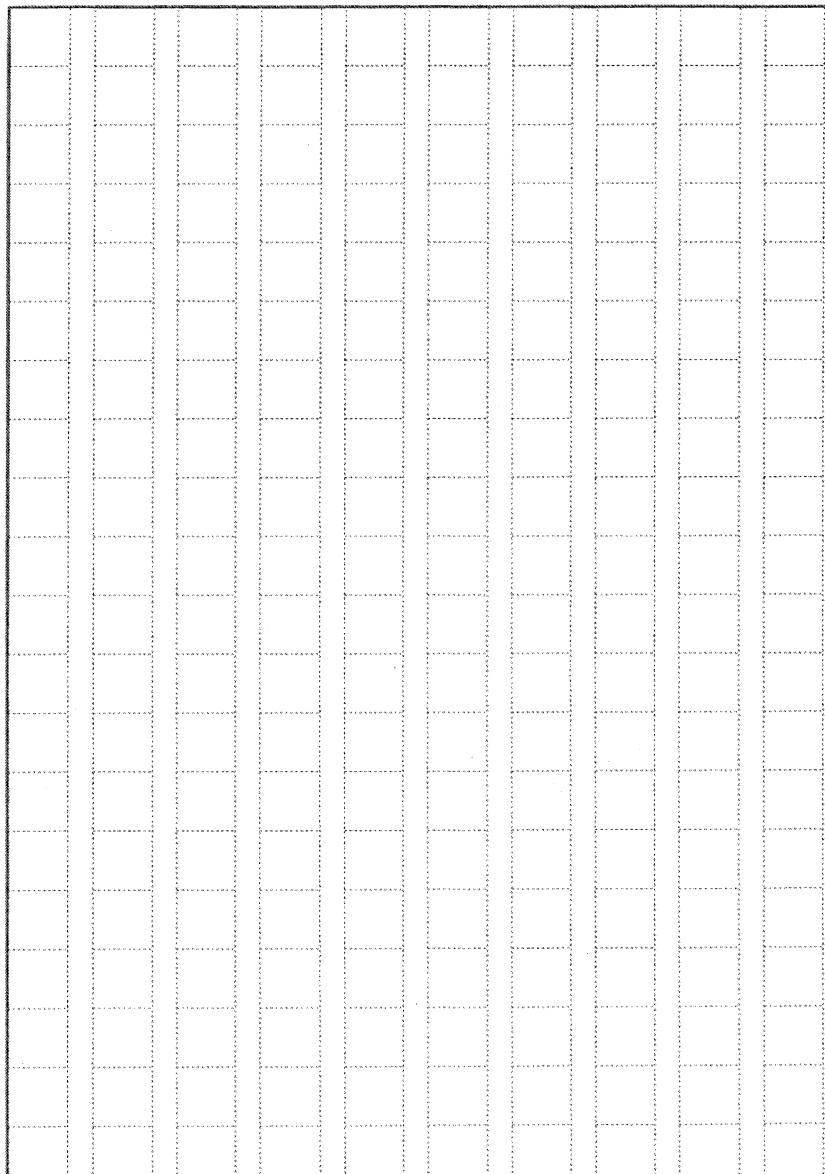
手帳は、じめに、私費学生を、選んでいた。何年間支援して下さりありがとうございました。父が病気で入院してから家庭の収入が一氣に減り、大学への進学が難しくなって、手帳の返却時、小貫基金様から給付して、いた。叶子と決まり、販売大学への進学を目指す。手帳の販売額は、まろば、貢学金がある。それから、千葉経済大学短期大学部に在籍するに進学する二ヶ月が、私の進路へのモチベーションをもたらす。金額、豆の入学金に充てることも、いままで、学生とはれたりとが、私の進路へのモチベーションをもたらす。うな在上げられて、受験勉強にも前回に取り組むべきまことに。

今後、

夢の実現の為に手口一層努力可

3月3日

に日本でモラルアートのバーチャル化の人々が  
日々と毎日手を取られることは、何を見かけます。  
されど保護者には、社会に少しでも貢献す  
る一歩をお約束いたしました。  
本当にありがとうございます。



## 将大学生生活を振り返って

K 専門学校

K・Y

私は、小質基金貸学生に選ばれた事を、誇りに思います。また、心から感謝していきます。

私は、復間部で、日中の仕事を慣めたり、校生活、勉強と、疲労回復にてしました。日中の仕事は学校と關係のない仕事内容だったのに、学校の実習など全くつけていけませんでもいた。しかし、将資金が支給されてから、

専門職に転職する事ができました。学校で専門的知識、アルバイトで実際の体験できることになりました。私は、日々充実した、楽しい生活を送る

日々、一学生の時よりも、より多く、日々の仕事は、私はてつて、とても大きくなり、日々充実したり、日々の生活を送る

争いで、それで、日々。

私は、一学生の時よりも、より多く、日々の仕事は、私はてつて、とても大きくなり、日々充実したり、日々の生活を送る

と頑張りたい体験したい。

日々、誰かの力はりないで、気持ちで溢れています。

選ばれた事を思い出し、奮起していります。

今は少再生で、既に一年以上のお学校生活、

その後の国家試験と、試練はまだ続きます。  
す。ですが、貴財团の支援を心に刻みます。

人々のQOLの向上を支援できることの後ろには、必ず努力がします。  
統り名事ば、貴財团への恩返しが考えています。

奖学金に選ばれるほどに、支えてくださった家族には、心から感謝です。

う感謝し、努力して頑張ります。  
この度は、小曾基金奖学金に選んでいた

き、誠にありがとうございました。

二の度、小貯基金の浮大学生として採用して

さん実した生活を送る二とやできました。

私は、浮大学生生活を振り返して、一年間

し畢竟にナリました。弟やが立の高校に通つて、生活が大変な時もあ

いるのでは出費がなく、生活が安定した生活を日々送

たのでは浮大学生で安定した生活を日々送

る二とやがでましタ。親やが浮大学生で安定した生活を日々送

ニとやがでましタ。またときにも浮大学生で安定した生活を日々送

と休む二とやがでましタ。またときにも浮大学生で安定した生活を日々送

の買物をレタリでお金を使

の買物をレタリでお金を使

今は国家試験の勉強を毎日頑張

今は国家試験の勉強を毎日頑張

の面でたくさん支えてもらひま

の面でたくさん支えてもらひま

買物をレタリでお金を使

買物をレタリでお金を使

基礎やら臨床まで覚えろと

基礎やら臨床まで覚えろと

苦しみます。國家試験の勉強を毎日頑張

苦しみます。國家試験の勉強を毎日頑張

して取り組む二とやができました。

して取り組む二とやができました。

日々浮大学生金のお金を使

日々浮大学生金のお金を使

今後もも試験の中

今後もも試験の中

7

2

1

き

た

い

と

田

い

ま

す

。

そ

し

て

、

止

出

科

衛

生

士としろをきかねにします。

い

と

し

り

く

の

方

の

ロ

さ

き

か

ね

い

し

て

、

止

出

科

衛

生

7

1

